



2022年12月14日

各 位

会 社 名 巴工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山 本 仁  
(コード番号:6309 東証プライム市場)  
問い合わせ先 経理部担当取締役 矢 倉 敏 明  
TEL : 03-3442-5127

## 中期経営計画（2022年11月～2025年10月）の策定について

### 「For Sustainable Future ～持続可能な未来のために～」

当社は、このたび 2022 年 11 月からの 3 年間を対象とする第 13 回中期経営計画「**For Sustainable Future ～持続可能な未来のために～**」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 基本方針

当社グループを取り巻く経営環境が不透明感を増す中、グローバルに展開する事業基盤とネットワーク、多岐にわたる知見や多様性を強みに既存の枠組みに囚われない新たな価値創造と持続的成長を目指し、SDGs や脱炭素を始めとする世界共通の課題に積極的に取り組み持続可能な未来のために変革と成長を続け業績拡大と企業価値向上を実現することを基本方針とします。

当社は経営理念である「高い技術と優れた製商品を提供し、社会に貢献する」ことにより収益力向上を図ると共に顧客を始めとするステークホルダーとの共存共栄や株主への利益還元を通じ証券市場に評価を頂き持続的に成長発展することで企業価値を向上させて参ります。

#### 2. 業績計画

機械製造販売事業では、生産体制改革の推進による採算性向上を図る他、中国市場での販売強化と米国市場での営業力強化に加え、新たな市場開拓等により海外事業の拡大を推し進め、更にバイナリー発電装置等の再生可能エネルギー分野への展開など SDGs や脱炭素への取り組みを推進します。

化学工業製品販売事業では、海外事業の拡大推進としてタイを軸とする東南アジアのビジ

ネス拡大、チェコを拠点とする欧州各国への展開や新たなサプライヤー発掘に注力する他、SDGs や脱炭素への取り組みとして風力発電などの再生可能エネルギー分野や EV 及びそれを支えるパワー半導体分野等に関する商材提供を積極的に展開します。

これらの施策により、最終年度となる 2025 年 10 月期（第 96 期）の連結売上高を 500 億円、同経常利益 40 億円とし、「For Sustainable Future ～持続可能な未来のために～」と称して推進して参ります。

・数値目標（単位：百万円）

|             | 第 93 期実績 |        |        | 第 96 期計画 |        |        | 93 期比<br>(%) |
|-------------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|--------------|
|             | 機 械      | 化学品    | 合 計    | 機 械      | 化学品    | 合 計    |              |
| 売 上 高       | 11,356   | 34,232 | 45,588 | 14,500   | 35,500 | 50,000 | 9.7%         |
| 営 業 利 益     | 903      | 2,396  | 3,299  | 1,300    | 2,700  | 4,000  | 21.2%        |
| 経 常 利 益     | —        | —      | 3,421  | —        | —      | 4,000  | 16.9%        |
| 当 期 純 利 益   | —        | —      | 2,659  | —        | —      | 2,800  | 5.3%         |
| ROE(純資産利益率) | —        | —      | * 8.0% | —        | —      | 7.6%   | —            |

\* 社員寮の売却益を除いた ROE 推定値は 7.2%。

### 3. 重点施策

#### ① 海外事業の拡大を推進します。

機械事業では中国市場での販売強化と米国市場での営業力強化を図る他、新たな市場開拓等を推進し売上拡大に繋げます。化学品事業ではタイを軸とする東南アジアのビジネス拡大、チェコを拠点とする欧州各国への展開の他、新たなサプライヤー発掘に注力し一層の事業拡大を推し進めます。

#### ② 更なる収益性向上に取り組めます。

機械事業では採算性向上を目指したコストダウンの実現に営業・製造の両部門が一体となって引き続き取り組み、化学品事業では工業材料分野を始めとする高収益性事業の更なる拡大と開発部を中心とする新規市場・顧客開拓に注力すること等により一層の収益性向上を実現します。

#### ③ SDGs や脱炭素等に積極的に取り組みます。

SDGs や脱炭素を始めとする世界共通の課題に積極的に取り組みます。機械事業ではバイナリー発電装置やマイクロ風力発電等の再生可能エネルギー分野への展開を推進し、化学品事業では風力発電などの再生可能エネルギー分野や EV 及びそれを支えるパワー半導体分野等に関する商材提供を積極的に展開します。

④ 迅速な意思決定、効率的な営業活動に繋がる DX を推進します。

様々なデータをフル活用し迅速な意思決定、効率的な営業活動に繋げるなど仕事への取り組み方を変革しビジネスそのものを改革するための DX を推進します。

⑤ 資本効率の改善に取り組みます。

当社はその期の業績を最も適切に反映する指標として経常利益（または EBITDA）を最重要視しており、この経常利益の極大化を図り当期純利益の拡大に繋げ、更に投資活動を通じた資本効率の向上を図ることにより ROE（純資産利益率）の改善に引き続き取り組みます。

⑥ 持続的成長に資する投資に積極的に取り組みます。

グループ全体の持続的成長に資する投資として成長分野への経営資源投入、工場設備の整備・拡充、新製商品の研究開発、システムインフラの強化等に注力する他、企業買収、業務提携等にも積極的に取り組みます。

⑦ 社員一人一人が活躍できる職場環境作りに取り組みます。

コンプライアンスを意識した透明性の高い経営を実践し社員一人一人が活躍できる良好な職場環境を築いた上で、グローバル化に貢献できる社員教育と将来の経営を担う幹部社員の育成に引き続き注力します。

以 上